

石淵ダム流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９７年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。石淵ダム流域にもっとも近い監視地点アメダス若柳を使用しました。

１９９７年度は水温測定が日単位で行われたため、水田水温に関しても過去７日間の移動平均値を計算して関係を図示することにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

- ・最高気温が２５度を越えたのは６月２３日で、幼穂形成期よりかなり早い時期にあたる。
- ・６月２３日以前においては、水田水温と最高気温との間には２，３度程度の差はあるが、両者はほぼ同じよう値で推移した。
- ・最高気温が２５度を越えると、水田水温は最高気温よりも低く経過した。

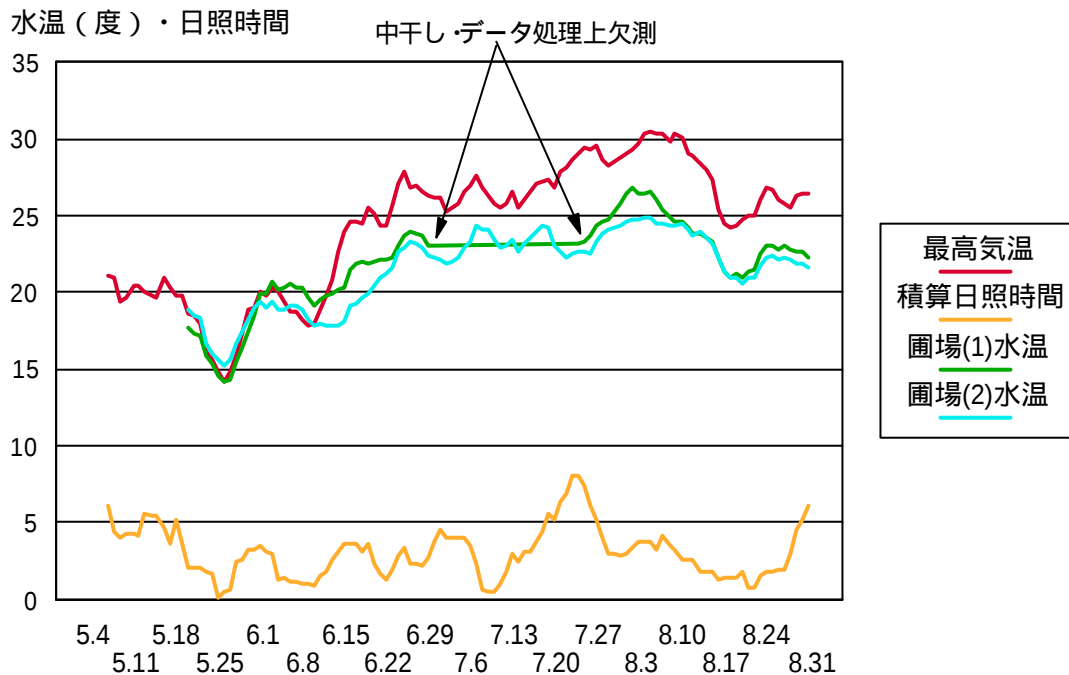


図１ アメダス若柳の最高気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９７年度
過去７日間の移動平均

２）日最低気温と水田水温の関係（図２参照）

- ・最低気温が１７度を越えたのは６月２４日で、幼穂形成期よりかなり早い時期にあたる。
- ・水田水温は全期間を通して最低気温より高く、５，６月の生育初期においてその差が大きい傾向がみられた。

- ・最低気温が5月下旬頃10度以下となり、また日照時間がほとんどないときは、水温は15度程度まで下がった。

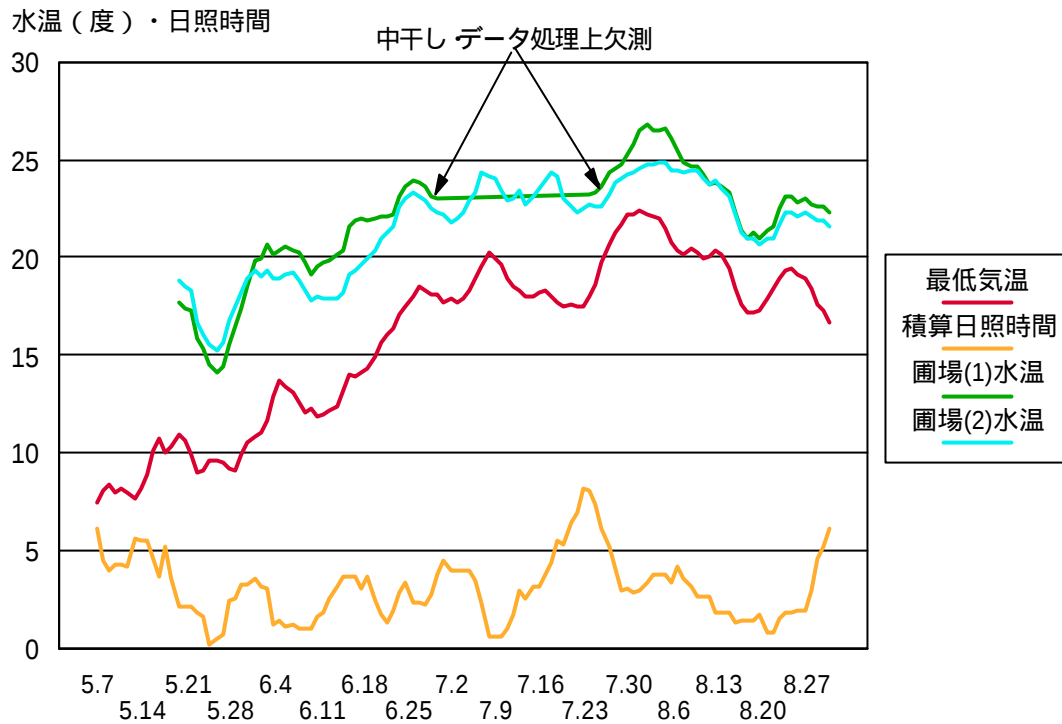


図2 アメダス若柳の最低気温と水田水温(午前9時)の推移
1997年度
過去7日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係(図3参照)

- ・平均気温が20度を超えるのは6月23日で、幼穂形成期よりかなり早い時期にあたる。
- ・6月23日以降については、平均気温と水田水温は2、3度程度の違いはあるが、同じような値で推移した。
- ・また出穂期に近づくと、水田水温は平均気温と同じような値で推移した。
- ・6月23日以前においては、水田水温は平均気温よりも常に高く維持された。

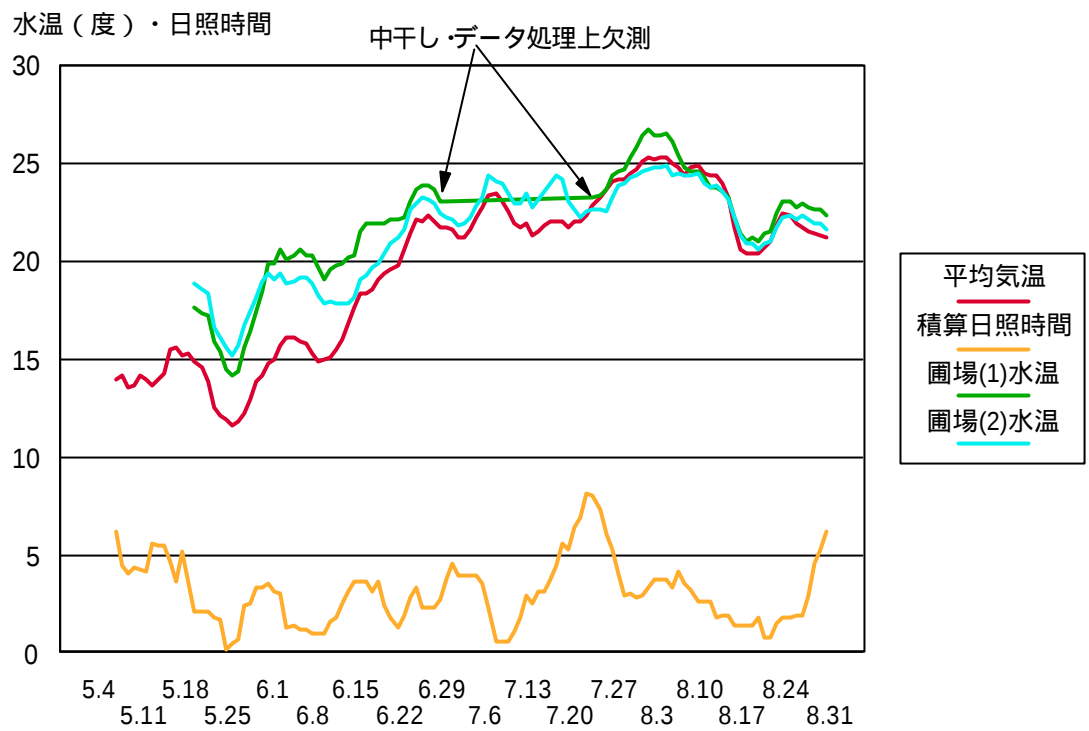


図3 アメダス若柳の平均気温と水田水温（午前9時）の推移
1997年度
過去7日間の移動平均